

MRI検査 説明書

《検査について》

- 当日は予約時間の 20 分前までに来院して下さい。
- MRI とは磁力を使って身体の断面を撮像し病気の診断・治療に役立てる為の検査です。磁力を使っているため、被曝がないのも特徴です。
- 検査中は大きな音がします。
- 検査時は検査着に着替えていただきます。
- 検査所要時間は 20 ～ 30 分です。
- 検査中は息止めをしていただくことがあります。
- 検査中は体を動かさないようにしてください。
- 検査の種類によっては、心電図をつけながら検査をすることがあります。
- 救急対応等により、検査時間が多少前後する可能性があります。

下記の方は、検査できない場合がありますので
かかりつけ医にお申し出ください。

心臓ペースメーカー装着者、人工内耳装着者
脳動脈クリップ装着者、人工弁、ステント、刺青、体内の金属物を有する方
妊娠または妊娠の可能性のある方、閉所恐怖症の方

危険ですので検査室に入室する際持ち込まないでください。
破損する恐れもあります。

入れ歯、メガネ、ヘアピン、かつら、時計、補聴器、エレキバン、カイロ
磁気カード、アクセサリ、金属のついた下着（ブラジャーなど）
ファスナーつきのズボン・スカート、カラーコンタクト、電子機器

《食事・飲水について》

- 腹部の撮影と造影剤を使用する場合は食事・飲水制限があります。
 - 検査予約時間の 4 時間前までに食事を済ませてください。
 - 水・お湯に限り 1 時間前までは飲んでいただいてかまいません。
- ※上記以降は飲食・飲水はしないでください。

《造影剤について》

- MRI 検査においては造影剤を使用する場合があります。
造影剤を使用することによって、より小さな病変が見つかったり、病変の性状が詳しくわかったりするため、診断に大変役立ち治療もしやすくなります。
造影剤には、静脈注射（ガドリニウム造影・鉄製造影）と経口投与（MRCP 検査用）があります。
 - 次の方は造影剤を使用出来ません。
 - ・造影剤に過敏症の既往歴のある方
 - 次の方はガドリニウム造影剤を使用するにあたり特に注意が必要です。
 - ・一般状態が極度に悪い方
 - ・気管支喘息の方 ▶ 副作用の発生頻度が高いとされています
 - ・重篤な腎障害のある方 ▶ 腎機能が悪化したり、腎性全身性線維症を生じる恐れがあります
- ※該当する方は検査の前にかかりつけ医にご相談ください。

《造影剤の副作用について》

- 症状としては、吐気・かゆみ・くしゃみ・発疹・めまい等で、そのほとんどは軽度なものです。しかし、20～45万人に1人位の割合で、重度な副作用（血圧低下、呼吸困難、意識混濁等）が出現することもあり、ごく稀ですが死亡例も報告されています。

《造影剤の自動注入について》

- 造影剤を短時間内に機械的に注射します。静脈には個人差があり、造影剤が血管外に漏れやすい体質の方もおられます。
- 造影剤は、多くの場合は時間とともに吸収され問題は残りませんが、漏れた量が多い場合に、追加処置が必要となる場合があります。

《造影剤検査後の注意》

- 静脈注射した造影剤は、尿として排泄されます。検査後当日は多めに水分をとるようにして下さい。食事は、普段どおりで結構です。
- 極めて稀にですが、造影剤の副作用として検査数日後に動悸、頭痛、吐気、かゆみ、蕁麻疹等の症状が現われることがあります。
これらの症状のほとんどは、軽度で自然に消失しますが、症状が続く場合はかかりつけ医まで連絡して、その指示に従って下さい。
- その他、不明な点がございましたら、かかりつけ医もしくは、当センター地域連携課にご連絡下さい。

TMGあさか医療センター

〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼1340-1
TEL: 048-466-2055 FAX: 048-497-5594

(2018.10.1 作成)